



2019年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月7日

上場会社名 株式会社テー・オー・ダブリュー

上場取引所 東

コード番号 4767 URL <http://www.tow.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高経営責任者 (GEO) (氏名) 江草 康二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員管理本部長 (氏名) 梶岡 二郎

TEL 03-5777-1888

四半期報告書提出予定日 2019年2月14日

配当支払開始予定日

2019年3月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第2四半期の連結業績(2018年7月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第2四半期	8,647	△4.3	1,216	12.3	1,233	12.9	826	14.4
2018年6月期第2四半期	9,036	6.1	1,083	1.7	1,091	1.8	722	1.4

(注) 包括利益 2019年6月期第2四半期 623百万円 (△43.1%) 2018年6月期第2四半期 1,095百万円 (64.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第2四半期	36.80	36.32
2018年6月期第2四半期	32.18	31.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期第2四半期	13,084	9,149	69.2	402.75
2018年6月期	12,996	8,832	67.2	388.96

(参考) 自己資本 2019年6月期第2四半期 9,049百万円 2018年6月期 8,739百万円

(注) 『『税効果会計に係る会計基準』の一部改正』(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年6月期の連結財政状態については、遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	13.00	—	14.00	27.00
2019年6月期	—	13.00	—	—	—
2019年6月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,436	△7.5	1,700	△6.8	1,714	△8.5	1,129	△6.5	50.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年6月期2Q	24,484,548 株	2018年6月期	24,484,548 株
② 期末自己株式数	2019年6月期2Q	2,016,126 株	2018年6月期	2,016,096 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年6月期2Q	22,468,440 株	2018年6月期2Q	22,468,452 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績の予想につきましては、現時点で入手可能な情報を基に作成しており、実際の業績は、今後、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の3ページを参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	9
3. 補足情報	10
(1) 販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用状況の改善により緩やかな回復基調で推移しましたが、米国の通商政策に端を発する貿易摩擦や地政学的リスク等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの属する広告業界及び事業領域であるプロモーション領域におきましても、その傾向は同様であります。

このような事業環境の中、当社といたしましては、前期に引き続き、マス広告から総合プロモーションへと大きくシフトするクライアントのニーズに応えるべく、当社の強みである「リアル(体験)・プロモーション」を軸としてデジタル・動画・PR・データ等の新たな領域も組み合わせる“体験デザイン※・プロダクション”を目指し推進中であります。

これらの取組みが一定の成果を上げ、好調に受注が進捗したことに加え、外資系の大手嗜好品メーカーによる新ブランドの大型体験イベントの受注や、かねてから提案していた大手家電メーカーの大規模周年イベント等の大型案件の取込みをするにいたりしました。

収益につきましては、「付加価値の高い提案による適正利益の確保」「原価管理の徹底」「販売費および一般管理費の厳格な管理」を全社的に推進したことで、収益力が向上しました。

その結果、売上高は3億88百万円減の86億47百万円(前年同期比4.3%減)、営業利益は1億33百万円増の12億16百万円(同12.3%増)、経常利益は1億41百万円増の12億33百万円(同12.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億3百万円増の8億26百万円(同14.4%増)となりました。

期初計画比(2018年8月8日発表以下同)では、売上高は8.4%増、営業利益は34.7%増、経常利益は35.1%増、親会社株主に帰属する四半期純利益は37.1%増となりました。

なお、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は過去最高となりました。

※『体験デザイン』

ブランドとのWow!な体験を起点に、体験者がそのブランドのファンとなり、特にSNSをハブに多様なメディアで体験の拡散・共有を最大化させる、その仕組みを設計すること。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ88百万円増加し、130億84百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ3億77百万円増加の116億43百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2億31百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が6億3百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億89百万円減少の14億41百万円となりました。

固定資産のうち有形固定資産は、前連結会計年度末に比べ1百万円減少の82百万円となりました。これは主に、減価償却によるものであります。

無形固定資産は、前連結会計年度末に比べ2百万円減少の18百万円となりました。これは主に、減価償却によるものであります。

投資その他の資産は、前連結会計年度末に比べ2億85百万円減少の13億39百万円となりました。これは主に、投資有価証券が2億78百万円減少したこと等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億81百万円減少の35億20百万円となりました。これは主に、電子記録債務が66百万円、買掛金が53百万円増加しましたが、未払法人税等が99百万円、その他が2億20百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ46百万円減少の4億14百万円となりました。これは主に、繰延税金負債が42百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億17百万円増加の91億49百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が2億2百万円減少しましたが、利益剰余金が5億12百万円増加したこと等によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて2億31百万円減少し、38億67百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1億5百万円(前年同四半期は4億24百万円の獲得)となりました。これは主に、売上債権の増加額が6億11百万円、法人税等の支払額が4億57百万円、その他の流動負債の減少が2億16百万円ありましたが、税金等調整前四半期純利益が12億33百万円、仕入債務の増加額が1億20百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は22百万円(前年同四半期は27百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が15百万円、投資有価証券の取得による支出が9百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3億15百万円(前年同四半期は2億92百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払額が3億14百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年1月15日に公表しましたように、このままの状況が続けば2018年8月8日の公表値を上回る可能性があるものの、实体经济の回復ならびにクライアントの広告需要に不透明な部分があるため、現状では、期初に設定した通期見通しを据え置きますが、修正が必要な場合には速やかに開示いたします。

また配当金につきましては、中間配当金を1株につき13円、通期で26円を予定しており、2018年8月8日の公表から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,098,717	3,867,109
電子記録債権	2,252,935	2,261,593
受取手形及び売掛金	3,420,460	4,023,792
未成業務支出金	245,683	290,515
未収入金	1,178,417	1,138,548
前払費用	31,242	35,671
その他	38,524	25,823
貸倒引当金	△516	-
流動資産合計	11,265,464	11,643,054
固定資産		
有形固定資産		
建物	111,158	114,976
減価償却累計額	△78,980	△81,099
建物(純額)	32,178	33,876
工具、器具及び備品	255,390	258,775
減価償却累計額	△209,311	△220,695
工具、器具及び備品(純額)	46,079	38,080
リース資産	4,639	5,310
減価償却累計額	△4,639	△442
リース資産(純額)	0	4,867
土地	6,027	6,027
有形固定資産合計	84,285	82,852
無形固定資産		
投資その他の資産	21,218	18,973
投資有価証券	1,200,130	921,487
保険積立金	224,085	225,489
繰延税金資産	42,971	39,229
敷金及び保証金	153,730	149,321
その他	4,310	4,310
投資その他の資産合計	1,625,227	1,339,837
固定資産合計	1,730,731	1,441,663
資産合計	12,996,196	13,084,718

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	21,080	87,930
買掛金	1,847,078	1,900,852
短期借入金	840,000	840,000
未払法人税等	369,470	269,655
賞与引当金	28,682	26,414
役員賞与引当金	-	19,796
その他	596,377	376,096
流動負債合計	3,702,687	3,520,747
固定負債		
退職給付に係る負債	229,802	216,922
役員退職慰労引当金	175,051	180,010
繰延税金負債	42,851	-
その他	13,675	17,784
固定負債合計	461,380	414,718
負債合計	4,164,067	3,935,465
純資産の部		
株主資本		
資本金	948,994	948,994
資本剰余金	1,089,236	1,089,236
利益剰余金	6,532,211	7,044,567
自己株式	△381,038	△381,063
株主資本合計	8,189,404	8,701,735
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	596,564	394,050
土地再評価差額金	△46,614	△46,614
その他の包括利益累計額合計	549,950	347,436
新株予約権	77,263	85,950
非支配株主持分	15,509	14,130
純資産合計	8,832,128	9,149,253
負債純資産合計	12,996,196	13,084,718

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)
売上高	9,036,651	8,647,862
売上原価	7,528,473	7,032,385
売上総利益	1,508,178	1,615,476
販売費及び一般管理費	424,811	398,927
営業利益	1,083,366	1,216,549
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7,374	10,921
役員報酬返納額	3,419	5,460
雑収入	1,586	1,308
営業外収益合計	12,381	17,689
営業外費用		
支払利息	2,073	1,198
売上債権売却損	1,778	-
雑損失	0	3
営業外費用合計	3,852	1,202
経常利益	1,091,895	1,233,036
特別利益		
投資有価証券売却益	48	-
新株予約権戻入益	372	-
特別利益合計	420	-
税金等調整前四半期純利益	1,092,315	1,233,036
法人税、住民税及び事業税	343,255	361,264
法人税等調整額	26,424	46,237
法人税等合計	369,680	407,501
四半期純利益	722,634	825,535
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△312	△1,378
親会社株主に帰属する四半期純利益	722,947	826,914

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	722,634	825,535
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	372,521	△202,513
その他の包括利益合計	372,521	△202,513
四半期包括利益	1,095,156	623,021
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,095,469	624,400
非支配株主に係る四半期包括利益	△312	△1,378

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,092,315	1,233,036
減価償却費	16,922	16,555
株式報酬費用	18,428	8,687
貸倒引当金の増減額(△は減少)	265	△516
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,885	△2,267
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	16,116	19,796
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,543	△12,879
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,618	4,959
受取利息及び受取配当金	△7,374	△10,921
支払利息	2,073	1,198
投資有価証券売却損益(△は益)	△48	-
新株予約権戻入益	△372	-
売上債権の増減額(△は増加)	△3,483,637	△611,990
未収入金の増減額(△は増加)	2,219,552	39,869
たな卸資産の増減額(△は増加)	△83,167	△44,832
その他の流動資産の増減額(△は増加)	22,843	8,271
仕入債務の増減額(△は減少)	946,767	120,624
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△5,500	△216,216
その他の固定負債の増減額(△は減少)	4,275	-
小計	768,507	553,375
利息及び配当金の受取額	5,418	10,703
利息の支払額	△2,197	△1,169
法人税等の支払額	△347,560	△457,039
営業活動によるキャッシュ・フロー	424,168	105,870
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,194	△15,260
無形固定資産の取得による支出	△3,294	△1,160
投資有価証券の取得による支出	△15,000	△9,000
投資有価証券の売却による収入	366	-
敷金及び保証金の回収による収入	-	4,707
その他の支出	△1,403	△1,702
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,526	△22,416
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	△25
リース債務の返済による支出	△487	△477
配当金の支払額	△292,089	△314,558
財務活動によるキャッシュ・フロー	△292,576	△315,061
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	104,064	△231,607
現金及び現金同等物の期首残高	3,496,857	4,098,717
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,600,922	3,867,109

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは同一セグメントに属するイベントの「企画」・「制作」・「運営」・「演出」及びそれに付帯する業務を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、記載を省略しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

カテゴリー別売上高

カテゴリー	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)		前年比 (%)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	
制作売上高 販促	5,507,161	60.9	3,447,765	39.9	△37.4
広報	2,597,466	28.7	4,069,538	47.1	56.7
文化/スポーツ	239,762	2.7	199,549	2.3	△16.8
博覧会	-	-	-	-	-
制作物	647,821	7.2	894,140	10.3	38.0
小計	8,992,211	99.5	8,610,993	99.6	△4.2
企画売上高	44,439	0.5	36,868	0.4	△17.0
合計	9,036,651	100.0	8,647,862	100.0	△4.3